

教育ICTの学びによる笑顔を、最前線からレポート！

No.3

授業での効果的なICT利活用に向けた実践を
教育局担当者に聞く

埼玉県 教育局

県立学校部 高校教育指導課 学びの改革担当

実践的なICT利活用研修を教員が体験することで 活用促進が加速すると思います

2013年度から「協調学習」への活用を支える目的でICT環境整備を進めている埼玉県教育庁様に、整備と併せて実施している「ICT利活用研修」についてお話を伺いました。



平尾 勇樹氏 (ひらお ゆうき)
埼玉県 教育庁 県立学校部 高校教育指導課
学びの改革担当 主事 (写真 左)

大塚 幸誠氏 (おおつか こうせい)
埼玉県 教育庁 県立学校部 高校教育指導課
学びの改革担当 指導主事 (写真 右)

ICT環境整備のきっかけを教えてください。

埼玉県では「主体的・対話的で深い学び」の実現をめざして「協調学習」に取り組んでおり、その効果を高めるために、ICTの整備を進めています。

ICT導入を進めるなかで、懸念はありましたか。

一番の懸念は、導入しても使われない、風化してしまうことでした。そこで、授業でICTを活用してもらうため、端末の整備と合わせて「ICT利活用研修」も行っています。2016年度からの2年間、検定校でのICT導入を通じて、ICTを広く活用してもらうためには、先生方に「私でもできる」と感じてもらうことが大事だと感じました。そこで当初は、端末の整備に合わせてICT利活用の研修を盛り込むこ

とは想定していませんでしたが、学校へのICT本格導入に際して必要と考え、加えました。**研修内容で重視したポイントは？**

重要視したのは、先生方が端末に触れ、実体験をすることです。ICTに馴染みのない先生も抵抗なく使えるよう、NTT L S (現・NTT ExCパートナー) と色々と相談しながら、カリキュラムを決めていきました。例えば、研修で使用するアプリケーションは協調学習につながるものに絞ったり、実習を多めに組み込むなど、工夫してもらいました。

研修を実施して、先生方の反応はどうでしたか。

普段使われていないオフィス系のソフトでは面倒な共同編集が簡単にでき、授業に参加している人のIDがひとつのスライドにずらりと表示されることなどは、先生方にとって新鮮だったようです。

参加した先生からは、「今までのやり方では、授業準備と生徒が使用するまでに多大な時間がかかっていたものが、本当に短時間で効率的にできそうで、すぐ使ってみたくなりました」などの声がありました。予想以上に好意的な意見が多かったですね。我々としても、

導入いただいている商品

ICT利活用研修



当社が受託した、平成26年度(2014年度)文部科学省「ICTを活用した教育の推進に関する実証事業」において開発された教員用授業設計カリキュラムを活用し、実際の授業設計まで行う実践的な研修です。講師陣は、教員免許保持者ほか、ICT支援員業務で経験を積み重ねた人材を中心に厳選しており、研修内容を学校で継続的に実践することができます。

今後の研修で考えていることを教えてください。

実体験を重ねることで、授業でのICT活用のアイデアも増えると思います。さらに、それを先生同士で共有することで、効果的な活用法や活用メリットへの理解も広がっていくのではないのでしょうか。

授業のイメージが湧く実体験を通じて、率先して活用する先生も増えてくると思っています。だからこそ、実践に落とし込んだICT利活用研修は、これからの重要なものだと考えています。

問い合わせ先：株式会社NTT ExCパートナー 教育ICT事業部

TEL 03-5419-7219 (代)

e-mail with-school2020@nttls.co.jp

URL <https://nttls-edu.jp/training/>